

國
本
密

東條内閣總理大臣ヨリ緬甸行政府長官
一行ニ對スル示達

昭和十八年三月十九日
大本營政府連絡會議決定

タイプライター用複写用半紙、粘見屋納

萬邦ラシテ各々其ノ所ヲ得シメ兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンセシム
ルハ帝國不動ノ國是ナリ
帝國ハ此ノ國是ニ基キ緬甸民衆多年ノ宿望タル新緬甸ノ獨立ヲ認ム
ルモノニシテ茲ニ帝國ノ意圖ヲ披瀝スルヲ得ルハ本大臣ノ最モ欣快
トスル所ナリ

第一、建國ノ精神ニ就テ

新緬甸國ノ建設ニ當リ帝國ノ最モ關心ヲ有スルハ其ノ建國ノ精神

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格B5)

S 1.7.0.0 - 46

71

トス

新緬甸國ハ完全ナル獨立國タルヘク其ノ建國ノ精神ハ固ヨリ緬甸
自體ノ決定スヘキモノナリト雖モ帝國ハ新緬甸國カ大東亞共榮圈
ノ一環タル道義ニ基ク新國家ニシテ世界新秩序ノ創造ニ寄與スル
モノタルヘキヲ確信ス

第二、國家ノ構成ニ就テ

新緬甸國ノ領域ハ曩ニ現行政府管轄區域ナリト聲明セシカ茲ニ更
ニ「シヤン」「カレン」地區以外ノ全緬甸ヲモ包含スルモノナ
ルヲ明言ス

國民ハ緬甸民族ヲ主體トシ領域内ノ諸民族ヲ協和的ニ抱擁スルノ

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格B5)

S 1.7.0.0 - 46

72

タイプライター用複写用半紙（粘り付）

趣旨ニ依リ決定セシコトヲ望ム

政治機構ノ決定ニ方リテハ特ニ國政ノ運用ヲ強力簡素ナラシムルコトヲ希望ス

第三、日緬基本關係ニ就テ

帝國ハ新緬甸國カ其ノ創意ト責任トニ於テ速ニ獨立國ノ實ヲ具フルコトヲ冀念シ全幅ノ支援ヲ爲スヘシ新緬甸國亦大東亞共榮圈ノ一環トシテ政治、軍事、外交、經濟等ノ各般ニ於テ將來ニ亘リ帝國ト密ニ提携協力スヘキコトヲ期待ス

第四、對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

新緬甸國ハ獨立ト同時ニ米英ニ對シ宣戰スルト共ニ速ニ戰時ニ即

(標準2102) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 - 46

73

大東亞省

タイプライター用複写用半紙（粘り付）

應スル諸般ノ態勢ヲ整備シ以テ帝國ト緊密一體戰爭完遂ニ邁進セシコトヲ切望ス

第五、軍事ニ就テ

新緬甸國ハ作戰上ノ要請ニ鑑ミ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊ノ爲一切ノ便宜ヲ供與スルト共ニ緬甸國軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付在緬帝國陸海軍最高指揮官ノ指揮ニ服セシメシコトヲ望ム

第六、經濟ニ就テ

新緬甸國ノ經濟ハ大東亞經濟建設ノ一環トシテ其ノ主權ノ下ニ於テ公正濶刺タル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セラレ度帝國ハ之ニ所要ノ援助ヲ與フルノ用意ヲ有ス

(標準2102) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 - 46

74

大東亞省

而シテ戦争遂行上必要ナルモノニ付テハ帝國ノ施策ニ特ニ順應ス
ルノ措置ヲ講センコトヲ望ム

第七 獨立ノ準備ニ就テ

以上ノ諸點ヲ了承シ新緬甸國ノ首班タルヘキ貴下ハ速ニ獨立準備
委員會ヲ設ケ獨立ニ關スル諸般ノ準備ヲ進メンコトヲ望ム
而シテ獨立ノ時期ハ八月前後ト豫定シ之カ準備ハ概ネ六月末迄ニ
完了スヘキヲ希望ス

尙細部ニ關シテハ現地軍司令官ヨリ承知セラレ度

惟フニ一國ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ緬甸民衆一千餘萬ノ熱望
ハ必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等ノ本懐

大東亞省

(東京2102) (日本標準規格 B5)

8 1.7.0.0 - 46

又之ニ過クルモノナカラシ
宜シク帝國ノ意圖スル所ヲ體シ有ユル障碍ヲ克服シ以テ建國ノ偉業
ヲ完成シ相携ヘテ戦争完遂、大東亞ノ新秩序建設ニ邁進セラレンコ
トヲ切望シテ止マス

大東亞省

(東京2102) (日本標準規格 B5)

8 1.7.0.0 - 46

東條内閣總理大臣ヨリ緬甸行政府長官
一行ニ對スル示達

昭和十八年三月十九日
大本營政府連絡會議決定

萬邦ヲシテ各々其ノ所ヲ得シノ兆民ヲシテ悉ク其ノ權ニ安ンセシムル
ハ帝國不動ノ國是ナリ

帝國ハ此ノ國是ニ基キ緬甸民衆多年ノ宿望タル新緬甸ノ獨立ヲ認ムル
モノニシテ茲ニ帝國ノ意圖ヲ披瀝スルヲ得ルハ本大臣ノ最モ欣快トス
ル所ナリ

第一、建國ノ精神ニ就テ

新緬甸國ノ建設ニ當リ帝國ノ最モ關心ヲ有スルハ其ノ建國ノ精神トス

新緬甸國ハ完全ナル獨立國タルヘク其ノ建國ノ精神ハ國ヨリ緬甸自
體ノ決定スヘキモノナリト雖帝國ハ新緬甸國カ大東亞共榮圈ノ一環
タル道義ニ基ク新國家ニシテ世界新秩序ノ創設ニ寄與スルモノタル
ヘキヲ確信ス

第二、國家ノ構成ニ就テ

新緬甸國ノ領域ハ舊ニ現行政府管轄區域ナリト聲明セシカ茲ニ更ニ
「シヤン」「カレンニ」地區以外ノ全緬甸ヲ包含スルモノナルヲ
明言ス

國民ハ緬甸民族ヲ主体トシ領域内ノ諸民族ヲ協和的ニ抱擁スルノ趣
旨ニ依リ決定セシコトヲ望ム
政治機構ノ決定ニ方リテハ特ニ國政ノ運用ヲ強力簡潔ナラシム

ムルコトヲ希望ス

第三、日緬基本關係ニ就テ

帝國ハ新緬甸國カ其ノ創意ト責任トニ於テ速ニ獨立國ノ實ヲ具フル
コトヲ冀念シ全幅ノ支援ヲ爲スヘシ新緬甸國亦大東亞共榮圈ノ一環
トシテ政治、軍事、外交、經濟等ノ各般ニ於テ將來ニ互リ帝國ト密
ニ提携協力スヘキコトヲ期待ス

第四、對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

新緬甸國ハ獨立ト同時ニ米英ニ對シ宣戰スルト共ニ速ニ戰時ニ即
應スル諸般ノ態勢ヲ整備シ以テ帝國ト緊密一體戰爭完遂ニ邁進セン
コトヲ切望ス

第五、軍事ニ就テ

新緬甸國ハ作戰上ノ要請ニ鑑ミ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊
ノ爲一切ノ便宜ヲ供與スルト共ニ緬甸國軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付在
緬帝國陸海軍最高指揮官ノ指揮ニ服セシムコトヲ望ム

第六、經濟ニ就テ

新緬甸國ノ經濟ハ大東亞經濟建設ノ一環トシテ其ノ主權ノ下ニ於テ
公正潑刺タル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セシムル帝國ハ之ニ所要ノ援
助ヲ與フルノ用意ヲ有ス
而シテ戰爭遂行上必要ナルモノニ付テハ帝國ノ施策ニ特ニ順應スル
ノ措置ヲ講ゼンコトヲ望ム

第七、獨立ノ準備ニ就テ

以上ノ諸點ヲ了承シ新編甸國ノ首班タルハキ貴下ハ速ニ獨立準備委員會ヲ設ケ獨立ニ關スル諸般ノ準備ヲ進メンコトヲ望ム
而シテ獨立ノ時期ハ八月前後ト豫定シ之カ準備ハ概テ六月末迄ニ完了スヘキヲ希望ス

尙細部ニ關シテハ現地軍司令官ヨリ承知セラレ度

惟フニ一樹ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ緬甸民衆一千餘萬ノ熱望ハ必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等ノ本懐又之ニ適クルモノナカラン
宜シク帝國ノ意圖スル所ヲ体シ有ユル障礙ヲ克服シ以テ建國ノ偉業ヲ

完成シ相携ヘテ戰爭完遂、本東亞ノ新秩序建設ヲ進メンコトヲ切望シテ止マス

昭和十八年三月 日
大本營政府連絡會議提案

東條内閣總理大臣ヨリ「パーモ」行政府長官及
其ノ一行ニ示達スヘキ事項

萬邦ヲシテ各々其ノ所ヲ得シメ兆民ヲシテ夫々其ノ堵ニ安ンセシム
ルハ帝國不動ノ國是ナリ
帝國ハ此ノ國是ニ基キ緬甸民衆多年ノ希望タル新緬甸ノ獨立ヲ認メ
ントスルモノニシテ茲ニ大日本帝國政府ヲ代表シ右獨立ニ關スル帝
國政府ノ具體的意圖ヲ正式ニ示達スルハ本大臣ノ最モ欣快トスル所
ナリ

大東亞省

(東條2102) (日本標準規格 B5)

B 1.7.0.0 - 46

83

第一、建國ノ精神ニ就テ

新緬甸國ノ建設ニ當リ帝國ノ最モ關心ヲ有スルハ建國ノ精神確立
ノ問題ナリ建國ノ精神ハ素ヨリ緬甸自體ノ決定スヘキモノナルモ
大東亞共榮圈ノ一環トシテ道義ニ基ク新國家ヲ建設シ以テ世界新
秩序ノ創造ニ寄與スヘキ精神的要素ヲ新緬甸建國ノ精神ニ盛ラレ
ンコトヲ要望ス

第二、領域ニ就テ

新緬甸ノ領域ハ舊ニ現行政府管轄區域ト聲明セルモ茲ニ更メテ「シ
ヤン」「カレン」地區以外ノ全緬甸ヲ包含セシムルコトヲ明言ス

第三、日緬關係ノ大綱ニ就テ

大東亞省

(東條2102) (日本標準規格 B5)

B 1.7.0.0 - 46

84

帝國ハ新緬甸カ速ニ獨立國タルノ實ヲ備フルコトヲ衷心所念シ所
 要ノ援助ヲ與フヘシ而シテ新緬甸國亦大東亞共榮國ノ一環トシテ
 政治、經濟、軍事、外交等各般ニ互リ帝國ト密ニ協力センコトヲ
 期待ス

第四對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

緬甸ハ獨立ト共ニ米英ニ對シ宣戰シ平時ノ觀念ヲ一擲シテ政治機
 構及其ノ運用ヲ強力簡素ナラシメ國內各民族ヲモ抱擁シ舉國一致
 以テ速ニ戰時即應ノ態勢ヲ整備セラレンコトヲ期待ス

第五軍事ニ就テ

緬甸ノ地カ對米英決戰場タルニ備メ作戰上ノ要請ニ應シ特別ノ措

大東亞省

(東2102)(日本標準規格B5)

8 1.7.0.0 - 46

85

置ヲ必要トスヘク泰ニ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊ノ爲一
 切ノ便宜ヲ供與セラレ度又緬甸陸海軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付帝國
 ノ單一指揮ニ服セラレ度

第六經濟ニ就テ

經濟ハ大東亞經濟建設ノ計畫ニ從ヒ其ノ一環トシテ緬甸國ノ主權
 ノ下ニ於テ公正自由ナル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セラレ度帝國ト
 シテモ所要ノ援助ヲ與フルノ用意アリ

而テ共同戰爭遂行上特ニ必要ナルモノニ關シテハ帝國ノ施策ニ順
 應セラレ度

第七獨立ノ準備ニ就テ

大東亞省

(東2102)(日本標準規格B5)

8 1.7.0.0 - 46

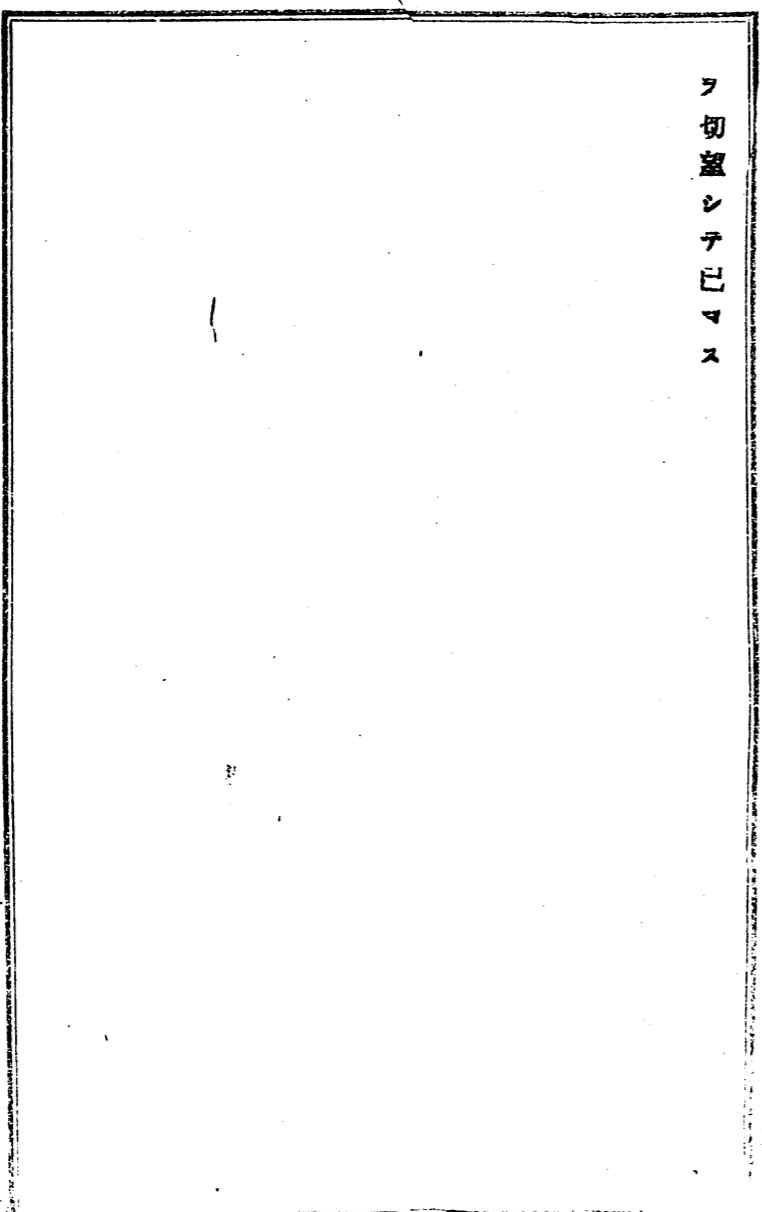
86

以上ノ諸點ヲ諒承シ新領甸國ノ中心タルヘキ貴下ハ速ニ舉國一致
 準備委員會ヲ設ケ現地軍司令官ノ指導ノ下ニ領甸人ノ創意ト責任
 ヲ以テ獨立後ニ於ケル新國家ノ形體、組織、國名、國旗、首都ノ
 決定等其ノ他諸般ノ準備ヲ進メラレ度而テ獨立ノ時期ハ八月一日
 ト豫定シ一切ノ準備ハ六月末迄ニ完了セラルヘキヲ期待ス
 惟フニ一國ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ領甸民衆一千餘萬ノ熱望
 ハ必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等ノ本體
 又之ニ過タルモノナカラン
 宜シク帝國ノ重國スル所ヲ體シ凡有ル障礙ヲ克服シ以テ建國ノ偉業
 ハ完成シ相携ヘテ戰爭遂行大東亞ノ新秩序建設ニ邁進セラレシコト

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 - 46 86-1



ヲ切望シテ已マヌ

大東亞省

(東京2102)(日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 - 46 87

REEL No. A-1206

參拾部ノ内第 16 號

東條内閣總理大臣ヨリ新細甸行政府長官
一行ニ對スル示達事項

昭和十八年三月十日
大本營政府連絡會議議案

萬邦ヲシテ各々具ノ所ヲ得シム兆民ヲシテ悉ク具ノ堵ニ安ンセシムル
ハ帝國不動ノ國是ナリ

此ノ國是ニ基キ本帝國政府ハ新細甸民族多年ノ宿望ヲ
ル新細甸ノ獨立ヲ實現シ帝國ノ範圍ヲ擴張スルヲ得ルハ本大臣ノ最モ欣
快トスル所ナリ

第一、帝國ノ精神ニ就テ

新細甸國ノ建設ニ當リ帝國ノ最モ關心ヲ有スルハ具ノ建國ノ精神ト

新細甸國ハ先づ其ノ精神ヲ
本件ノ閣中ヨリ新細甸自体ノ決定スヘキモノナリト雖帝國ハ新細甸國カ

大東亞共榮圈ノ一環タル道義ニ基ク新細甸ニシテ世界新秩序ノ創造

ニ寄與スルヲモテ其ノ確信ス

第二、國家ノ構成ニ就テ

新細甸國ノ領域ハ幾ニ現行政府管轄區域ナリト聲明セシカ故ニ更ニ
「シヤン」「カレン」ニシテ地區以外ノ全細甸ヲモ包含スルモノナルヲ
明言スルハ國民ハ細甸民族ヲ主体トシ領域内ノ諸民族ヲ協和的ニ
抱擁スルノ趣旨ニ依リ決定セムコトヲ望ム
而シテ政治機構ノ決定ニ方リテハ特ニ國政ノ運用ヲ強力簡素ナラシ

ムルコトヲ希望ス

第三、日緬關係ニ就テ

其ノ別表トモ又作テ示シテ
帝國ハ新緬甸國ノ獨立ヲ速ニ獨立國ノ實ヲ備フルニ
環トシテ政治、軍事、外交、經濟等ノ各般ニ於テ將來ニ互ニ帝國ト
密ニ提携協力スベキコトヲ期待ス

第四、對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

新緬甸國ハ獨立ト同時ニ米英ニ對シ宣戰スルト共ニ速クニ戰時ニ即
應スル諸般ノ態勢ヲ整備シ以テ帝國ト緊密ニ一體戰争完遂ニ邁進セシ
コトヲ切望ス

第五、軍事ニ就テ

新緬甸國ハ作戰上ノ要請ニ鑑ミ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊
ノ爲一切ノ便宜ヲ供與スルト共ニ緬甸國軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付本
國帝國陸海軍最高指揮官ノ指揮ニ服セシムルコトヲ望ム

第六、經濟ニ就テ

經濟ハ大東亞經濟建設ノ一環トシテ緬甸國ノ主權ノ
下ニ於テ公正自由ナル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セラルル度帝國ハ之ニ
所要ノ援助ヲ與フルノ用意ヲ有ス
而シテ戰争遂行上必要ナルモノ
ニ付テハ帝國ハ其ノ必要ニ應ジテ
之ヲ供給スルコトヲ望ム

第七、獨立ノ準備ニ就テ

以上ノ諸點ヲ蒙^レ承シ新緬甸國ノ^{首班}中央タルヘキ貴下ハ速ニ獨立準備委
員會ヲ設ケ現地軍司令官指揮ヲ下シ緬甸人ノ^{責任}創設ノ責任ヲ專ラシ
備^ハ新國家ノ形骸、組織、國名、國旗、首都、決定等諸般ノ
準備ヲ進メラレンコトヲ望ム

而シテ獨立ノ時期ハ八月^{廿日}ト確定シ^テ準備ハ六月末迄ニ完了
ス

ヘキヲ希望ス
惟フニ一國ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ緬甸民衆一千餘萬ノ熱望ハ
必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等、本懷又之
ニ過クルモノナカラシ
宜シク帝國ノ意圖スル所ヲ体シ有ニル障礙ヲ克服シ以テ建國ノ偉業ヲ

完成シ相携ヘテ戰爭完遂、大東亞ノ新秩序建設ニ邁進セラレンコトヲ
切望シテ止マズ

國家機密

東條内閣總理大臣田中總務長官
一行ニ對スル示達事項

昭和十八年三月十八日
大本營政府連絡會議議案

萬邦ヲシテ各々其ノ所ヲ得シノ兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンセシムル
ハ帝國不動ノ國是ナリ

茲ニ此ノ國是ニ基キ大日本帝國政府ヲ代表シテ緬甸民族多年ノ宿望タ
ル新緬甸ノ獨立ニ關シ帝國ノ企圖ヲ披瀝スルヲ得ルハ本大臣ノ最モ欣
快トスル所ナリ

第一、華僑ノ精神ニ就テ

新緬甸國ノ建設ニ當リ帝國ノ最モ關心ヲ有スルハ其ノ建國ノ精神ト

ス

本件ハ固ヨリ緬甸自体ノ決定スヘキモノナリト雖帝國ハ新緬甸國カ
大東亞共榮圈ノ一環タル道義ニ基ク新國家ニシテ世界新秩序ノ創造
ニ寄與スヘキモノナルヲ確信スルモノナリ

第二、國家ノ構成ニ就テ

新緬甸國ノ領域ハ舊ニ現行政府管轄區域ナリト聲明セシカ茲ニ更ニ
「シヤン」「カレン」地區以外ノ全緬甸ヲ包含スルモノナルヲ
明言ス又其ノ國民ハ緬甸民族ヲ主体トシ領域内ノ諸民族ヲ協和的ニ
抱擁スルノ趣旨ニ依リ決定セムコトヲ望ム
而シテ政治機構ノ決定ニ方リテハ特ニ國政ノ運用ヲ強力簡素ナラシ

ムルコトヲ希望ス

第三、日緬關係ニ就テ

帝國ハ新緬甸國カ速ニ獨立國ノ實ヲ備フルト共ニ大東亞共榮國ノ一環トシテ政治、軍事、外交、經濟等ノ各般ニ於テ將來ニ互リ帝國ト密ニ提携力スヘキコトヲ期待ス
之カ爲建國ニ方リ日緬間ニ所要ノ條約ヲ締結スルモノトス
第四、對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

新緬甸國ハ獨立ト同時ニ米英ニ對シ宣戰スルト共ニ速カニ戰時ニ應スル諸般ノ態勢ヲ整備シ以テ帝國ト緊密ニ一體戰争完遂ニ邁進セムコトヲ切望ス

第五、軍事ニ就テ

新緬甸國ハ作戰上ノ要請ニ應ジ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊ノ爲一切ノ便宜ヲ供與スルト共ニ緬甸國軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付在領帝國陸海軍最高指揮官ノ指揮ニ服セシムコトヲ望ム

第六、經濟ニ就テ

經濟ハ大東亞經濟建設ノ計畫ニ從ヒ其ノ一環トシテ緬甸國ノ主權ノ下ニ於テ公正自由ナル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セラレ度帝國ハ之ニ所要ノ援助ヲ與フルノ用意ヲ有ス
而シテ戰争遂行上特ニ必要ナルモノハ帝國ノ施策ニ順應セシムルノ措置ヲ講ゼンコトヲ望ム
第七、獨立ノ準備ニ就テ

以上ノ諸點ヲ諒承シ新緬甸國ノ中心タルヘキ貴下ハ速ニ獨立準備委員會ヲ設ケ現地軍司令官指導ノ下ニ緬甸人ヲ創憲ト責任ヲ以テ獨立後ニ於ケル新國家ノ形態、組織、國名、國旗、首都ノ決定等諸般ノ準備ヲ進メラレシコトヲ望ム

而シテ獨立ノ時期ハ八月一日ト豫定シ一切ノ準備ハ六月末迄ニ完了セラレヘキヲ希望ス

惟フニ一國ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ緬甸民衆一千餘萬ノ熱望ハ必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等ノ本懐又之ニ過クルモノナカラシ

宜シク帝國ノ意圖スル所ヲ体シ有ユル障礙ヲ克服シ以テ建國ノ偉業ヲ完成シ相携ヘテ戰爭完遂、大東亞ノ新秩序建設ニ邁進セラレシコトヲ切望シテ止マス

ムルコトヲ希望ス

第三、日緬關係ニ就テ

帝國ハ新緬甸國カ速ニ獨立國ノ實ヲ備フルト未ニ大東亞共榮國ノ一環トシテ政治、軍事、外交、經濟等ノ各般ニ於テ將來ニ互リ帝國ト密ニ提携力スヘキコトヲ期待ス

第四、對米英宣戰及戰時態勢確立ニ就テ

新緬甸國ハ獨立ト同時ニ米英ニ對シ宣戰スルト共ニ速ニ戰時ニ應スル諸般ノ態勢ヲ整備シ以テ帝國ト緊密一體戰爭完遂ニ邁進セムコトヲ切望ス

第五、軍事ニ就テ

新緬甸國ハ作戰上ノ要請ニ鑑ミ軍事上帝國ト完全ニ協力シ帝國軍隊ノ爲一切ノ便宜ヲ供與スルト共ニ緬甸國軍ハ戰時ノ用兵作戰ニ付在

緬甸陸海軍最高指揮官ノ指揮ニ服セシムコトヲ望ム

第六、經濟ニ就テ

經濟ハ大東亞經濟建設ノ計畫ニ從ヒ其ノ一環トシテ緬甸國ノ主權ノ下ニ於テ公正自由ナル活動ニ依リ之カ振興ヲ期セラレ度帝國ハ之ニ所要ノ援助ヲ與フルノ用意ヲ有ス

而シテ戰爭遂行上必要ナルモノハ帝國ノ施策ニ順應シテ之ノ措置ヲ講センコトヲ望ム

第七、獨立ノ準備ニ就テ

S 1.7.0.0 - 46

S 1.7.0.0 - 46

以上ノ諸點ヲ繼承シ新緬甸國ノ中核タルハキ貴下ヲ速ニ獨立準備委員會ヲ設ケ地理軍事情報指導ヲ下ニ緬甸人ヲ解任シ以テ獨立後ニ於ケル新國家ノ形骸ノ組織ノ國名ノ國旗ノ首都ノ決定等諸般ノ準備ヲ進メ^後レンコトヲ望ム

而シテ獨立ノ時期ハ八月^後中^之ト決定シ^後準備ハ六月^後迄ニ完了

惟フニ一國ノ創成ハ容易ノ業ニ非スト雖モ緬甸民衆一千餘萬ノ熱望ハ必スヤ之ヲ玉成スヘク之カ指導ノ重責ヲ双肩ニ擔フ貴下等ノ本懐又之ニ過クルモノナカラシ

宜シク帝國ノ黨圖スル所ヲ体シ有ニル障礙ヲ克服シ以テ建國ノ偉業ヲ

完成シ相携ヘテ戰爭完遂、大東亞ノ新秩序建設ニ邁進セレンコトヲ切望シテ止マヌ

タリシ

外務部ノ内第ニ九號

陸軍ニ關スル事項

昭和二年四月一日
陸軍主務局長

國家機密

陸軍

一 大東亞防衛及建設上必要ナル陸軍ノ開發及進出ニ就テハ帝國ノ植

民ニ頼ルセシムルト共ニ日本人ノ企業進出ニ支障ナラシム

ニ重要銀石資源(タンクステン、アンチモン、錳母等)ノ企業發

達ハ植民地人ニ依リ日獨台辦トシ當分ノ植民地ニ於テ其ノ實績ヲ

察知ス

其石油等類ノ將來ニ於ケル開發及運出ハ別ニ定ムルモ當分ノ植民地

側ニ於テ經營ス

陸工業及動力等類ハ其ノ現地自給、重要資源ノ開發及民生關係ノ

爲必要ナル事業ニシテ輸送力、原料及資材、勞力、動力及設備等

諸般ノ關係ヲ調査シ植民地内ニ採行スルヲ最要且得策ト認メラル

ルモノハ逐次之ヲ培養ス

其ノ經營形態ハ勞メテ植民地人トシ植民地人ノ創意ト責任トヲ尊重

スルモ適當リ左ニ依ル

(1) 軍ニ直接關係アルモノハ兵器ノ修理組立、マダノール製造等

軍直營若クハ軍ノ委託經營

(2) 軍ニ關係深キモノ及大東亞建設上特ニ必要ナルモノ(セメント

油脂、電力等)

植民地人日獨台辦トス

(3) 其ノ他ノモノ

S 1.7.0.0 - 46

107

S 1.7.0.0 - 46

106

總司法人和何側經營トス但何側ノ要請ニヨリ日本人ノ力働セ
三管ルモノアリ

四 煤、水、蓄産業ハ何側ノ經營ト責任トニ依リ其ノ振興ヲ期ス
帝國ノ特ニ期待スル資源ハ棉花、皮革及チ木材トス

五 煤、水、蓄産業關係工業中煤ノ現産自活及大東亞諸國上必要ナ
ルモノハ精米、紡績、製材、皮革等一ハ何側ノ主權下ニ日本
企業ヲ加シ經營トス其ノ他ハ何側ノ經營ニ委ヌルヲ本則トス

七 總司法人(運出決定)ノ企業存ニオシテハ特
不利ナラザルヲ期ス